

第1回永平寺町学校のあり方検討委員会（令和元年12月25日）

グループワークでの ご意見一覧

- 部の存続
- 登校時の態
- SNS 利用制限
- 先生によって宿題の量が全く違う
- タイピング・プログラミング授業どんな感じ？
- 給食センター反対
- 学校の統廃合をめぐるこれまでの議論を知りたい
- 学校のインターネット、IT 環境が死んでいる
- スクールバス出して
- せっかくある大学を生かした教育
- タブレット等 IT 教育のモデル校を作ってみたらどうでしょう
- インターネットが身近になりすぎ、子供たちの被害が不安
- 少人数だと手厚い教育を受けることができると感じる
- 防犯カメラをつけて
- IT 教育の先進的な町にしてほしい
- 生徒が少なくてやりたい部活がない
- 今年は熊の出没が多く、バスがあって助かりました
- 小学校同士の連携した行事は良いです
- 学校の統廃合について先に行った地区の前後の生徒、親、住民の考えを知りたい（小浜など）
- AI 教育をして欲しい
- 永平寺町は教育に力を入れてくれてありがたい
- 給食センターにするか？今後も学校給食でお願い
- 夏のプールに入れたいのはやめて欲しい

- ストレス解消の手立てを示していく必要もありか
- 教育の目的をいかに、家庭へ伝えるのか？
- 教える者、決める者が今、未来を学ぶべき
- 時代の流れに応じた教育とは？教育基準法が時代からおくれている？
- 教育方法を決める視点が昔を生きた者だと屈折する
- 子供側から地域や家庭、教育側に現状を、今のあり方を教えるのもおもしろいかも
- コミュニケーションの取り方（先生と生徒、生徒間同士）が難しくなっているように思う
- AI 化が進むにつれ、人として基本的なマナーを忘れていく様な感があり

- 思考するという行為が鈍ってくる様な感あり
 - 悩み、苦しみを心に閉じ込めたままのストレスが大きくなってきている様に見受けられる
 - これからの社会と教育のあり方から AI 活用、超スマート社会になると生活のあり方はどうなる。
 - 今の状況だと企業はもうかっても我々の生活が良くなる方向は見えてこない
 - 世の中をどう見るか
 - 膨大な情報の中から読み取る力を身につけて行くためには、氾濫する情報をうのみではどうなのか
 - 物言わぬ人間づくりにならないか
 - 育む力、学び方、何を身につけてもらうのか、社会適応できるようにという前に自己の確立ではないのか、自己自分がなければ、主張もできない
 - 地域へのつながり、共に育む、育つは大事
 - 大勢の中でなく、個々が大事にされる、自覚できる教育環境こそ大事なのではないか
 - ソサエティ 5.0 に出ている 3 つの特徴創造的思考・人とかかわる力、柔軟即興、この能力をどう教育におとしこむかを議論する必要がある
 - あれもこれもではなく力を入れる方向性をしぼる
 - 実際に改革を行っている学校の話を知りたい
 - 指示されたことを順序よく効率的に遂行できる・・・に疑問有り、自己主張ができ物事について（何に対しても）一方から言われた方向、指示された方向からのみという見方は問題あり、自己も否定につながりかねないが
 - これからの社会、次の社会をどのレベルまでとらえるのか
 - コミュニティスクールでの地域住民の意識付が大切
 - これからの社会と教育のあり方について小学校児童、中学校生徒でどう捉えるのか
 - コミュニティスクールの適正規模をどうとらえるのか地域らしさ
-
- 永平寺町も少子化に向かっているが近年の子供の数をみると 1 ケタ代の人数のクラスが増えているのではないか（学校教育課長の話から）
 - スポーツによる教育（できるだけ体験できるような方法）
 - 平等な教育を一人一人の子供が受ける必要がある
 - どこまでマンモス化の学校ができるか、へいがいは
 - あまりにも人数が少ない中で教育を受けるのは地域ではの考え方を換え、子供自身の成長を第一に考えなければいけない
 - 人との関わりがなくなる社会が来るのは怖い
 - AI も大事であるが急に社会が変わるとなると、いなかの子供たちがついていられないのでは（誰が教えるのか、教えられるのか）
 - いじめについては今回議論から除かれるのか

- 教える立場からの永平寺町子供たちの印象が聞きたい
 - 学校の先生の構成（年代別）と定員についての考え方（新人教育）
 - 永平寺町の地域の文化歴史を子供たちに伝えていくことが大切
 - 小中学校の毎日の宿題が余りにも多く、児童生徒の学力の向上につながってはいないと思う
 - Society5.0 は人間の能力を後退させるような怖さを感じる
 - 小中学校の3地区の教育交流（上志比の歴史、文化を松岡、永平寺に伝える。松岡の歴史文化を上志比に伝える。）
 - 先日 OECD が行った国際学力調査で読解力で日本が第14位だったことが大変気になりました
 - 永平寺町での子供たちの地域性はどうか。上志比地域、松岡地域、永平寺地域
 - おとしよりによる出前授業で地域のことを伝える
 - 永平寺を活性化するために子供たちの知恵をいかしていく
 - 福井県内での永平寺町学力、体力はどうかのでしょうか
 - 先生の説明（ソサエティ 5.0）とても教育にはマイナスイメージを受けました
-
- 教員の世代交代が進む、若年の育成も大変、地域の理解を
 - インターネット、SNS による問題
 - ネット社会の進化のスピードに社会がついていけない
 - インターネット社会のデメリット不安、ルールを作る
 - スマホやタブレットでのコミュニケーションが当たり前になっている
 - ネット、AI が進むと学校へ通うメリット？合併の提案があるのはなぜ？
 - インターネット AI 個人の学習方法にあわせた提案が可
 - 人口減少や少子化で子供が減り教育環境の変化
 - 総合型地域スポーツクラブの設立・運営。部活動からクラブ化
 - 吉野小学校の人数の減少、複式学級になるのか
 - 人口減少の急速な進展（空き家、空き地の増加、さみしい町）
 - 地域のつながり弱くなる傾向にある
 - 学校に期待されることがどんどん増えてきているということ
 - 地域の人の関わりが強い
 - 地域のをどう学校につなげていくか
 - 自然の中での発見工夫の機会が減少？
 - 子どもとつながる地域社会⇒もっと必要？
 - 子どもたちを含む地域づくりを行う（地域のリーダー作り）
 - 永平寺町の子供たちは素直な子が多い
 - あいさつのできる永平寺町。禅の心を大切に（これからもいかす）

- 永平寺町の豊かな自然・文化を生かした教育の展開
- 永平寺町の小中、それぞれが特色をもっている。生かしたい
- 友達同志の遊びから学ぶ機会が減少？
- 自然の中で多少、子供のなすがままに任せる時間を与えては？
- これからの社会に必要な力とは？
- 物語、伝記等長文を読む楽しみ。喜び。達成感は？
- 22世紀への社会づくり⇒今の子供たちの今後
- 小さい学校でのチームワーク（人のきもちがわかる子供達）
- 人間関係コミュニケーション力の低下が進むと何がキケンなのか
- 子どもたちのかかわる力、どう育てていくか
- 機械やシステムを作り出すのは人間、その人材をつくる基礎はなに？

永平寺町小中学校の在り方検討委員会ワーキンググループ意見

これまでの経過、先進事例

学校の統廃合のこれまでの議論について知りたい。

学校統廃合を先に行った地区の考えを知りたい。(小浜市などの生徒・親、住民)

計

1
1
2

部活動

部の存続のこと

生徒が少なくて、やりたい部活動がない。

スポーツを体験できる教育がいい。

総合型地域スポーツクラブの設立・部活動からクラブ化へ

1
1
1
1
4

登下校

登下校の態のこと

クマの出没は、バスがあって助かった。

スクールバスのこと

防犯カメラをつけて

1
1
1
1
4

AI・SNS・インターネット

プログラミング授業の様子はどうなっているのか。

学校のインターネット化・IT環境が死んでいる。

タブレット等IT教育のモデル校を作る。

IT教育の先進的な街にしてほしい。

AI教育をしてほしい。

膨大な情報の氾濫、鵜呑みにしない力、読み取る力が必要

インターネット、SNSの被害が心配。ルール作りが必要。SNSの制限が必要。

AIで物言わぬ人間作りになってはいけない。

AI化が進むと人としての基本的なマナーが忘れがちになる。

AIの活用、超スマート社会になると生活はどうなるのだろう。

インターネットやAIの教育では、個人の状況に合わせた教育が必要

AIで人との関りがなくなる社会は怖い。

AIは大事だが、社会が急変すると田舎の子供たちはついていけないのか。誰が教えられるのか。

ネット社会のスピードに社会がついていない。

ネットやAIが進むと学校に通うことの意味やメリットが問われる。なぜ合併するのか？

1
1
1
1
1
1
1
1
4
1
1
1
1
1
1
1
18

コミュニティスクール

コミュニティスクールの推進には住民への意識づけが大切、地域らしい教育の推進、出前授業

人口減少が急激に進展し、空き家や空き地が増加する寂しい街になる。

地域のつながりが弱くなってきている。地域の力をどう教育に繋げていくか。

子どもを含めて地域のリーダーづくりが必要

今の教育方法に昔の者は困惑する。

コミュニケーションの取り方が難しくなってきた。危険性を感じる。

3
1
3
1
1
2
11

永平寺の学校

小人数は手厚い教育ができる。

小さい学校のチームワークの良さ。人の気持ちかわかる子どもたち。

少子化で1ヶ台の人数のクラスが増えている。

吉野小学校も人数が減少して複式学級になるのか。

あまりにも少ない人数で受ける教育が心配。こどもの成長を第一に考えるべき。

1
1
1
1
2

1	小学校同士の連携した行事はよい。	21
1	3地区の小中学校の交流を盛んにして、互いに地域の文化や歴史を教え合う。	
2	永平寺町の3つの地域性を大切にしたい。それぞれの特性を生かしたい。	
1	マンモス校の弊害も知りたい。	
2	永平寺町は教育に力を入れていてありがたい。学力、体力の県内での状況は？	
1	永平寺町の子供たちは素直な子が多い。	
1	あいさつができる永平寺町。禅の心を大切にしたい。	
1	先生から永平寺の子供たちの印象をお聴きしたい。	
1	教育の目的をどうやって家庭に伝えるか。	
1	改革を始めている学校の話を知りたい。	
1	各学校の先生方の年齢構成や定員について知りたい。	
1	教員の世代交代が進んでいる。	
1	先生の新人教育はどうなっているのか。	

未来の教育、教育についての考え

1	教える者が未来を学ぶべき。	33
1	これからの教育は、22世紀の社会づくりに直結する。	
1	ソサティ5.0に必要な創造力・人と関わる力・柔軟な思考を教育に落とし込んでほしい。	
2	ソサティ5.0には、人間の能力を後退させるような怖さを感じる。マイナスイメージを持った。	
1	機会やシステムを創るのは人間。その人間を教育でどう育てるのか。	
2	時代の流れに応じた教育の推進。これからの時代に必要な力は何か。	
1	ここでは、これからの社会、次の社会まで議論するのか。	
1	永平寺町の地域の文化や歴史を子どもたちに伝えていくのは大事	
1	個々が大切にされる教育の推進	
1	格差のない平等な教育を一人一人が受けられるように	
1	重点的に力を入れる方向性を絞る。	
1	子どもがいつも教えられるのではなく、地域や家庭に教える教育も面白い。	
1	永平寺の活性化について、子どもたちの知恵を生かせ。	
1	これからの社会や教育を小学生や中学生はどう考えているのか。	
2	宿題の量の違い。量が多く、学力向上につながない。	
1	教えられたことを効率よく遂行できる教育でいいのか。	
1	OECDで日本の子供たちの読解力が落ちていくことが気になる。(14位)	
1	物語や伝記を読む教育、長文を読むことで達成感を味わわせたい。	
1	いじめのことは、今回、議論するのか。	
2	自然の中で発見する機会が減っている。子どもに任せる時間を与えよ。	
2	友達同士の遊びの中から学ばせよ。	
1	子どもたちには、関わる力が必要になる。それを教育でどう育てていくのか。	
1	スマホやタブレットでのコミュニケーションが当たり前になっている。	
1	思考することが鈍くなっていないか。	
1	悩み、苦しみのストレスをためているように思う。	
1	社会適応できるために自己の確立が必要	
1	大学を生かした教育	
1	企業はもうかっても我々の生活はよくなるらない。	

給食・プール

2	給食センター反対。学校の自校給食がよい。	3
1	夏はプールに入りたい。	

町内の学校教育の現状について

アンケート案をご審議いただく際の参考資料として、各種調査の結果を列挙いたします。

【令和元年度 全国学力・学習状況調査】

1教科に関する調査結果

※ 全国平均・県平均正答率との比較 3%≦◎、0%≦○<3%、-3%<△<0%、-3%≧▲

小学6年生

	国語	算数
全国比	◎	◎
福井県比	◎	○
福井県の順位	全国2位	全国4位

中学3年生

	国語	数学	英語
全国比	◎	◎	◎
福井県比	◎	◎	◎
福井県の順位	全国2位	全国1位	全国1位

§ 備考：小学校における教科に関する調査では、全ての教科において、全国・県よりも平均正答率が高い結果となりました。国語については、県平均より3%以上高い結果となりました。中学校では全ての教科において、全国・県よりも平均正答率が3%以上高い結果となりました。

2生活習慣や学習環境に関する調査結果

① 思いやりや感謝の心

小学6年生

	学級みんなで話し合っ て決めたことなどに協 力して取り組み、うれ しかったことがあります か	いじめは、どんな理由 があってもいけないこ とだと思いますか	人が困っているときは、 進んで助けていますか
永平寺町	72.3%	91.6%	50.3%
県	53.9%	86.4%	42.8%
国	45.8%	85.0%	40.4%

中学3年生

	学級みんなで話し合っ て決めたことなどに協 力して取り組み、うれ しかったことがあります か	いじめは、どんな理由 があってもいけないこ とだと思いますか	人が困っているときは、 進んで助けていますか

永平寺町	55.1%	83.8%	40.7%
県	55.1%	82.3%	39.7%
国	45.4%	78.3%	34.6%

§ 備考：友達との関りは、小学校中学校とも、全国・県よりも良好でした。「人が困っているときは、進んで助けていますか」では、全国・県平均を上回っているものの5割というのは寂しいです。分け隔てなく人と接する心情を「道德教育」を中心に高めていく必要があります。

② 自分を大切にすること

小学6年生

	自分には、よいところがある と思いますか	難しいことでも、失敗を恐れ ないで挑戦していますか	将来の夢や目標を持ってい ますか
永平寺町	47.7%	41.9%	73.5%
県	43.9%	35.1%	71.9%
国	38.8%	30.1%	81.4%

中学3年生

	自分には、よいところがある と思いますか	難しいことでも、失敗を恐れ ないで挑戦していますか	将来の夢や目標を持ってい ますか
永平寺町	40.1%	22.2%	55.1%
県	33.7%	25.0%	50.0%
国	29.0%	22.5%	44.9%

§ 備考：「自分には、よいところがあると思いますか」では、全国・県平均を上回っているものの5割以下で、それが、中学校における「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」の低下にもつながっていると考えられます。成功体験も大切ですが、小学校のうちに失敗から立ち上がる経験を積ませることも必要だと考えられます。

③ 生活のリズム

小学6年生

	毎日、同じくらいの時刻に寝 ていますか	家で自分で計画を立てて勉 強をしていますか	家の人(兄弟姉妹を除く)と 学校での出来事について話 をしますか
永平寺町	41.3%	34.2%	52.3%
県	42.8%	34.1%	48.0%
国	38.9%	33.1%	50.1%

中学3年生

	毎日、同じくらいの時刻に寝 ていますか	家で自分で計画を立てて勉 強をしていますか	家の人(兄弟姉妹を除く)と 学校での出来事について話 をしますか
永平寺町	43.7%	18.6%	47.3%
県	37.3%	15.3%	47.0%
国	33.6%	14.9%	46.4%

§ 備考：小学生、中学生ともに、おおむね落ち着いた生活を送っている結果となっていますが、小学校の生活リズムが県平均を下回っています。ネットやゲームの影響で、帰宅後の生活が不規則になっていることが考えられます。保護者も含めた教育とスマートルールの確立が課題です。

④ 地域との関わり

小学6年生

	今住んでいる地域の行事に参加していますか	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
永平寺町	66.5%	28.4%
県	58.2%	20.5%
国	37.2%	18.9%

中学3年生

	今住んでいる地域の行事に参加していますか	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
永平寺町	40.7%	12.0%
県	33.1%	14.7%
国	21.0%	11.5%

§ 備考：小中学校ともに、地域の行事にはよく参加しています。中学校の「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」では県平均を下回りました。地域連携を深め、地域行事の企画に入り込むなど、参加だけでなく参画することが必要です。

【令和元年度 福井県学力調査】

① 学校生活は楽しいですか

小学5年生

	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	思わない
永平寺町	55.3%	34.2%	8.1%	2.5%
県	61.8%	30.8%	5.3%	2.2%

中学2年生

	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	思わない
永平寺町	66.5%	25.0%	6.8%	1.7%
県	57.1%	35.1%	6.1%	1.7%

§ 備考：「まあまあ」も含め「楽しい」が小学校では89.5%（県92.6%）、中学校では91.5%（県92.2%）となっています。どちらも若干、県を下回っていますが、約9割は楽しく学校生活を送っています。学校が楽しいということは一番重要なことですので、今後も引き続き楽しい学校づくりの対応が必要です。

② 学級で、いっしょに学習したり、活動したりすることは楽しいですか

小学5年生

	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	思わない
永平寺町	64.0%	28.6%	6.8%	0.6%
県	67.0%	27.7%	4.1%	1.2%

中学2年生

	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	思わない
永平寺町	64.2%	30.1%	5.1%	0.6%
県	60.7%	33.0%	5.3%	1.0%

§ 備考:「まあまあ」も含め「楽しい」が小学校では92.6%(県94.7%)、中学校では94.3%(県93.7%)となっています。これも県と同様、9割以上がクラスメイトとの活動を楽しんでいます。

児童生徒数の変遷

各年4月1日実数

学校名\年度	平成2年	平成6年	平成11年	平成16年	平成21年	平成26年	平成31年
松岡小学校	422	407	424	419	417	401	389
吉野小学校	90	76	65	65	73	77	73
御陵小学校	98	112	149	133	150	140	109
志比小学校	237	244	241	222	179	162	143
志比南小学校	110	105	103	118	126	106	82
志比北小学校	84	88	75	55	50	36	34
上志比小学校	311	252	217	227	160	134	127
小学校合計	1,352	1,284	1,274	1,239	1,155	1,056	957

H31-H2	H31÷H2
△ 33	92.2%
△ 17	81.1%
11	111.2%
△ 94	60.3%
△ 28	74.5%
△ 50	40.5%
△ 184	40.8%
△ 395	70.8%

学校名\年度	平成2年	平成6年	平成11年	平成16年	平成21年	平成26年	平成31年
松岡中学校	395	313	326	314	315	316	299
永平寺中学校	269	214	225	208	180	176	145
上志比中学校	166	166	132	106	111	77	60
中学校合計	830	693	683	628	606	569	504

H31-H2	H31÷H2
△ 96	75.7%
△ 124	53.9%
△ 106	36.1%
△ 326	60.7%

年度	平成2年	平成6年	平成11年	平成16年	平成21年	平成26年	平成31年
総合計	2,182	1,977	1,957	1,867	1,761	1,625	1,461

H31-H2	H31÷H2
△ 721	67.0%

児童生徒数の推計方法について

この推計は、H26 から H31 の住民基本台帳の動きから、将来の新生児数や各年齢の人口を算出したもので、現在、町が進めている幼稚園・幼稚園再編計画の基礎としている数値との整合をとっております。

【推計方法】

① 0歳児数の推計

ある年度に生まれた0歳児数をその年度の16～50歳女性数で除した率を単年度出生率とします。

⇒ H27～31年(5カ年)の単年度出生率の合計を5で除したものを平均出生率とします。

⇒ 令和2年度の16～50歳女性数に平均出生率を乗じたものを令和2年度の0歳児数とします(以後繰り返しで0歳児数を算出する)。

② 年齢による増減率

ある年度の0歳児が翌年度に1歳になった時、1歳児が2歳になった時…の人口の増減率を単年度コーホート変化率とします(年齢ごと)。

⇒ H27～31年(5カ年)の単年度コーホート変化率の合計を5で除したものを平均コーホート変化率とします(年齢ごと)。

⇒ 令和1年度の0歳児に0→1歳の平均コーホート変化率を乗じたものを令和2年度の1歳児数とし、令和1年度の1歳児に1→2歳の平均コーホート変化率を乗じたものを令和2年度の2歳児数…とします(以後繰り返しで各年齢の児童生徒数を算出する)。

【実数と推計値の差異】

H31の各校の児童生徒数の実数(小:957人、中:504人)と推計値(H31.4の住民登録数。小:963人、中:527人)に差異があるのは、区域外就学(特別支援学校や福大付属義務教育学校・私立中など町外校への通学)、学区外就学(坂上地区から松岡小学校への通学など)の影響を受けているためです。

永平寺町学校のあり方検討委員会

1. 小学校の児童数・学級数について (H31. 4. 1 実数)

学校名	住所	学級数	男	女	合計
松岡小学校	松岡神明 3-132	16	188	201	389
吉野小学校	松岡吉野第 26 号 3 番地	7	33	40	73
御陵小学校	松岡兼定島第 39 号 15 番地	7	53	56	109
志比小学校	谷口第 1 号 70 番地	7	74	36	143
志比南小学校	市野々第 1 号 11 番地	7	48	34	82
志比北小学校	岩野 2-1	4	16	19	34
上志比小学校	栗住波 26-15	8	66	61	127
合計		56	478	447	957

	1年生				2年生				3年生				4年生				5年生				6年生				特別支援(外数)			
	級数	男	女	計	級数	男	女	計	級数	男	女	計	級数	男	女	計	級数	男	女	計	級数	男	女	計	級数	男	女	計
松岡小学校	2	21	30	51	2	25	41	66	2	25	36	61	2	35	30	65	3	35	27	62	2	39	32	71	3	8	5	13
吉野小学校	1	6	3	9	1	3	3	6	1	9	11	20	1	6	5	11	1	5	10	15	1	3	8	11	1	1	0	1
御陵小学校	1	11	8	19	1	8	6	14	1	8	9	17	1	9	12	21	1	2	11	13	1	12	10	22	1	3	0	3
志比小学校	1	9	8	17	1	13	15	28	1	12	11	23	1	13	6	19	1	16	15	31	1	10	14	24	1	1	0	1
志比南小学校	1	9	5	14	1	10	4	14	1	6	7	13	1	4	5	9	1	10	9	19	1	6	4	10	1	3	0	3
志比北小学校	1	5	1	6	※	3	1	4	1	3	3	6	※	3	3	6	1	3	5	8	1	2	2	4	0	0	0	0
上志比小学校	1	4	14	18	1	13	12	25	1	12	8	20	1	12	10	22	1	12	11	23	1	9	5	14	2	4	1	5
合計	8	65	69	134	7	75	82	157	8	75	85	160	7	82	71	153	9	83	88	171	8	81	75	156	9	20	6	26

※については複式学級

2. 中学校の生徒数・学級数について (H31. 4. 1 実数)

学校名	住所	学級数	男	女	合計
松岡中学校	松岡吉野塚 61-10-1	13	146	153	299
永平寺中学校	東古市第 22 号 46 番地	8	86	59	145
上志比中学校	栗住波第 16 号 47 番地	4	23	37	60
合計		25	255	249	504

	1年生				2年生				3年生				特別支援(外数)			
	級数	男	女	計	級数	男	女	計	級数	男	女	計	級数	男	女	計
松岡中学校	4	44	51	95	4	50	59	109	3	48	43	91	2	4	0	4
永平寺中学校	2	24	15	39	2	29	21	50	2	31	22	53	2	2	1	3
上志比中学校	1	6	13	19	1	8	12	20	1	9	10	19	1	0	2	2

3. 小学校児童数の推計について

小学生全体

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	67	72	139	69	64	133	58	60	118	56	56	112
2年	78	83	161	54	55	109	60	62	122	57	57	114
3年	82	86	168	74	70	144	62	62	124	57	59	116
4年	87	71	158	72	76	148	53	73	126	57	60	117
5年	88	88	176	70	73	143	64	68	132	58	61	119
6年	84	77	161	79	84	163	71	65	136	58	61	119
計	486	477	963	418	422	840	368	390	758	343	354	697

永平寺町の小学生全体では、平成31年度（令和元年度）に比べ令和15年度では**27%減少**することが予想されています。

松岡小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	21	29	50	28	32	60	31	33	64	30	32	62
2年	23	39	62	26	35	61	31	34	65	30	33	63
3年	29	36	65	32	31	63	31	34	65	30	33	63
4年	34	28	62	34	27	61	31	43	74	30	34	64
5年	32	26	58	21	30	51	33	39	72	31	34	65
6年	39	33	72	23	41	64	28	33	61	31	34	65
計	178	191	369	164	196	360	185	216	401	182	200	382

吉野小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	9	6	15	7	5	12	5	4	9	5	4	9
2年	5	5	10	5	2	7	5	4	9	5	4	9
3年	9	12	21	5	6	11	6	4	10	5	4	9
4年	6	7	13	5	3	8	2	4	6	5	4	9
5年	10	11	21	9	6	15	5	2	7	5	4	9
6年	5	9	14	5	5	10	7	5	12	5	4	9
計	44	50	94	36	27	63	30	23	53	30	24	54

御陵小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	11	8	19	9	7	16	8	7	15	8	6	14
2年	10	7	17	8	5	13	8	7	15	8	6	14
3年	10	9	19	7	11	18	8	7	15	8	6	14
4年	10	12	22	9	10	19	8	5	13	8	6	14
5年	2	11	13	11	8	19	10	5	15	8	7	15
6年	12	10	22	10	7	17	9	7	16	8	7	15
計	55	57	112	54	48	102	51	38	89	48	38	86

志比小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	8	8	16	9	7	16	4	6	10	4	5	9
2年	13	16	29	4	3	7	5	7	12	4	5	9
3年	11	12	23	12	7	19	5	7	12	4	6	10
4年	14	6	20	5	12	17	7	9	16	4	6	10
5年	17	17	34	8	8	16	2	7	9	4	6	10
6年	10	14	24	13	15	28	9	7	16	4	6	10
計	73	73	146	51	52	103	32	43	75	24	34	58

志比南小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	10	5	15	3	5	8	3	2	5	3	2	5
2年	10	4	14	7	3	10	3	2	5	3	2	5
3年	8	7	15	4	5	9	4	2	6	3	2	5
4年	5	5	10	9	7	16	1	0	1	3	2	5
5年	12	9	21	11	5	16	7	4	11	3	2	5
6年	7	5	12	11	4	15	3	5	8	3	2	5
計	52	35	87	45	29	74	21	15	36	18	12	30

志比北小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	4	2	6	4	1	5	1	1	2	1	1	2
2年	3	0	3	1	0	1	1	1	2	1	1	2
3年	4	3	7	2	2	4	1	1	2	1	1	2
4年	3	3	6	5	3	8	2	1	3	1	1	2
5年	3	5	8	6	2	8	0	1	1	1	1	2
6年	2	1	3	4	0	4	6	1	7	1	1	2
計	19	14	33	22	8	30	11	6	17	6	6	12

上志比小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	4	14	18	9	7	16	6	7	13	5	6	11
2年	14	12	26	3	7	10	7	7	14	6	6	12
3年	11	7	18	12	8	20	7	7	14	6	7	13
4年	15	10	25	5	14	19	2	11	13	6	7	13
5年	12	9	21	4	14	18	7	10	17	6	7	13
6年	9	5	14	13	12	25	9	7	16	6	7	13
計	65	57	122	46	62	108	38	49	87	35	40	75

4. 中学校生徒数の推計について

中学生全体

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	84	83	167	83	88	171	56	55	111	61	62	123
2年	85	96	181	90	70	160	75	69	144	64	62	126
3年	96	83	179	90	90	180	74	76	150	55	73	128
計	265	262	527	263	248	511	205	200	405	180	197	377

永平寺町の中学生全体では、平成31年度（令和元年度）に比べ令和15年度では**28%減少**することが予想されています。

松岡中学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	44	51	95	49	58	107	40	42	82	45	45	90
2年	51	59	110	52	46	98	46	47	93	47	45	92
3年	54	45	99	46	48	94	50	39	89	43	52	95
計	149	155	304	147	152	299	136	128	264	135	142	277

永平寺中学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	27	17	44	24	23	47	13	6	19	9	10	19
2年	28	23	51	22	14	36	18	14	32	10	10	20
3年	34	26	60	32	33	65	19	23	42	10	10	20
計	89	66	155	78	70	148	50	43	93	29	30	59

上志比中学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	13	15	28	10	7	17	3	7	10	7	7	14
2年	6	14	20	16	10	26	11	8	19	7	7	14
3年	8	12	20	12	9	21	5	14	19	2	11	13
計	27	41	68	38	26	64	19	29	48	16	25	41

【推計方法】

住民基本台帳（平成31年4月1日時点）を使用したコーホート変化率法（小学校区別を合計して算出）

※他の学区に通学している児童・生徒がいるため平成31年度の生徒数及び推計値とは差があります。

永平寺町 学校のあり方に関するアンケート調査 (小中学生保護者用)

調査ご協力のお願い

SAMPLE

令和2年●月 永平寺町

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査は、小中学生のお子様全員の保護者を対象にお送りしています。
2. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。注意書きに従ってください。
3. 設問によってご回答いただく方が限られる設問はございません。お子さんが小学生であっても中学校に行った場合を想定してご記入ください。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、
それぞれの小学校へ●月●日（●）までにご提出ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に対するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

◆調査に関するお問い合わせ先◆
永平寺町教育委員会 学校教育課
電話：0776-61-3937 FAX：0776-61-3938

小学校についてについておうかがいます。

問3 小学校では、基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業の改善を行っています。上記以外で、保護者として小学校教育で重要視していることは何ですか？あてはまる番号3つに○をつけてください。

1. 社会のマナーやルールを身に付けること
2. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること
3. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に付けること
4. ICT教育*の環境を整備して、どこにいても最新の情報が得られること
5. 校舎や教室の設備の充実が図られること
6. 外国語の習得や多文化を体験できること
7. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること
8. 礼の心*を重んじた道徳心を身につけること
9. どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること
10. 少人数でも安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること

※ICT教育・・・パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法のこと

※礼の心・・・校門での礼、無言清掃など町が教育全般を通じて推進している心

問3-1 問3の項目以外で重要視していることがあればご記入ください。

問4 小学校教育の各項目の満足度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

項 目	大変満足	やや満足	普通	やや不満	大変不満
①社会のマナーやルールを身に付けること	1	2	3	4	5
②集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること	1	2	3	4	5
③地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に付けること	1	2	3	4	5
④ICT教育の環境を整備して、どこにいても最新の情報が得られること	1	2	3	4	5
⑤校舎や教室の設備の充実が図られること	1	2	3	4	5
⑥外国語の習得や多文化を体験できること	1	2	3	4	5

⑦地域の方々との交流により豊かな体験ができること	1	2	3	4	5
⑧礼の心を重んじた道徳心を身につけること	1	2	3	4	5

問4-1 **問4の項目以外**で満足、不満足に感じていることがあればご記入ください。

【**満足**に感じていること】

【**不満足**に感じていること】

問5 保護者として子どもたちと地域との関わりについて期待することは何ですか？あてはまる番号**3つ**に○をつけてください。（保護者、先生等へのサポートを含む）

※3～8は授業の中で行うことを想定しています

1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること
2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること
3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習支援してくれること
4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること
5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること
6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること
7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること
8. 地域の大学や大学生との探究的な学びの支援をしてくれること
9. 休日や放課後などに宿題などの学習支援をしてくれること
10. 祭りや美化活動などの地域活動に子どもたちを参加させてくれること
11. 特になし

問5-1 **問5の項目以外**で地域に期待することがあればご記入ください。

【小学校別の生徒数の将来推計について】

小学校全体

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	67	72	139	69	64	133	58	60	118	56	56	112
2年	78	83	161	54	55	109	60	62	122	57	57	114
3年	82	86	168	74	70	144	62	62	124	57	59	116
4年	87	71	158	72	76	148	53	73	126	57	60	117
5年	88	88	176	70	73	143	64	68	132	58	61	119
6年	84	77	161	79	84	163	71	65	136	58	61	119
計	486	477	963	418	422	840	368	390	758	343	354	697

永平寺町の小学校（小学生）全体では、平成31年度（令和元年度）に比べ令和15年度では約7割まで減少することが予想されています。

松岡小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	21	29	50	28	32	60	31	33	64	30	32	62
2年	23	39	62	26	35	61	31	34	65	30	33	63
3年	29	36	65	32	31	63	31	34	65	30	33	63
4年	34	28	62	34	27	61	31	43	74	30	34	64
5年	32	26	58	21	30	51	33	39	72	31	34	65
6年	39	33	72	23	41	64	28	33	61	31	34	65
計	178	191	369	164	196	360	185	216	401	182	200	382

吉野小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	9	6	15	7	5	12	5	4	9	5	4	9
2年	5	5	10	5	2	7	5	4	9	5	4	9
3年	9	12	21	5	6	11	6	4	10	5	4	9
4年	6	7	13	5	3	8	2	4	6	5	4	9
5年	10	11	21	9	6	15	5	2	7	5	4	9
6年	5	9	14	5	5	10	7	5	12	5	4	9
計	44	50	94	36	27	63	30	23	53	30	24	54

御陵小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	11	8	19	9	7	16	8	7	15	8	6	14
2年	10	7	17	8	5	13	8	7	15	8	6	14
3年	10	9	19	7	11	18	8	7	15	8	6	14
4年	10	12	22	9	10	19	8	5	13	8	6	14
5年	2	11	13	11	8	19	10	5	15	8	7	15
6年	12	10	22	10	7	17	9	7	16	8	7	15
計	55	57	112	54	48	102	51	38	89	48	38	86

志比小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	8	8	16	9	7	16	4	6	10	4	5	9
2年	13	16	29	4	3	7	5	7	12	4	5	9
3年	11	12	23	12	7	19	5	7	12	4	6	10
4年	14	6	20	5	12	17	7	9	16	4	6	10
5年	17	17	34	8	8	16	2	7	9	4	6	10
6年	10	14	24	13	15	28	9	7	16	4	6	10
計	73	73	146	51	52	103	32	43	75	24	34	58

志比南小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	10	5	15	3	5	8	3	2	5	3	2	5
2年	10	4	14	7	3	10	3	2	5	3	2	5
3年	8	7	15	4	5	9	4	2	6	3	2	5
4年	5	5	10	9	7	16	1	0	1	3	2	5
5年	12	9	21	11	5	16	7	4	11	3	2	5
6年	7	5	12	11	4	15	3	5	8	3	2	5
計	52	35	87	45	29	74	21	15	36	18	12	30

志比北小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	4	2	6	4	1	5	1	1	2	1	1	2
2年	3	0	3	1	0	1	1	1	2	1	1	2
3年	4	3	7	2	2	4	1	1	2	1	1	2
4年	3	3	6	5	3	8	2	1	3	1	1	2
5年	3	5	8	6	2	8	0	1	1	1	1	2
6年	2	1	3	4	0	4	6	1	7	1	1	2
計	19	14	33	22	8	30	11	6	17	6	6	12

上志比小学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	4	14	18	9	7	16	6	7	13	5	6	11
2年	14	12	26	3	7	10	7	7	14	6	6	12
3年	11	7	18	12	8	20	7	7	14	6	7	13
4年	15	10	25	5	14	19	2	11	13	6	7	13
5年	12	9	21	4	14	18	7	10	17	6	7	13
6年	9	5	14	13	12	25	9	7	16	6	7	13
計	65	57	122	46	62	108	38	49	87	35	40	75

【推計方法】

住民基本台帳（平成31年4月1日時点）を使用したコーホート変化率法（小学校区別を合計して算出）

※他の学区に通学している児童・生徒がいるため平成31年度の児童・生徒数及び推計値とは差があります。

問6 将来的に児童数が減少した際に町の対応として希望することを項目ごとにあてはまる番号 1つ に○をつけてください。

項 目	希望する	やや希望	どちらでもない	あまり希望しない	希望しない
①学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする	1	2	3	4	5
②町内の小学校間交流・学習連携を盛んにする	1	2	3	4	5
③小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする（ICTの活用を含む）	1	2	3	4	5
④複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の専門教科の授業を担当することでつながりを盛んにする	1	2	3	4	5
⑤複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設（プールなど）を相互に活用することでつながりを盛んにする	1	2	3	4	5
⑥他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする（ICTの活用含む）	1	2	3	4	5
⑦海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする（ICTの活用含む）	1	2	3	4	5
⑧学校の再編を通じて一定の児童数を確保する	1	2	3	4	5

問6-1 問6の項目以外で希望することがあればご記入ください。

問7 1学年の児童数についてあなたが最低限必要だと思ふ人数をご記入ください。

1学年 最低 （ ）人

問7-1 その理由をご記入ください。

中学校についてについておうかがいます。

問 8 中学校でも基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では主体的・対話的で深い学びの視点から学習過程の改善を行っています。上記以外で保護者として中学校教育で重要視していることは何ですか？あてはまる番号 3つ に○をつけてください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 社会のマナーやルールを身に付けること |
| 2. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること |
| 3. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に付けること |
| 4. ICT教育の環境を整備して、どこにいても最新の情報が得られること |
| 5. 校舎や教室の設備の充実が図られること |
| 6. 外国語の習得や多文化を体験できること |
| 7. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること |
| 8. 礼の心を重んじた道徳心を身につけること |
| 9. どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること |
| 10. 少人数でも安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること |
| 11. 部活動を通して豊かな経験をし、成長すること |

問 8 - 1 **問 8 の項目以外**で重要視しているものがあればご記入ください。

--

問 9 中学校教育の各項目の満足度について、あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

項 目	大変満足	やや満足	普通	やや不満	大変不満
①社会のマナーやルールを身に付けること	1	2	3	4	5
②集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること	1	2	3	4	5
③地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に付けること	1	2	3	4	5
④ICT教育の環境を整備して、どこにいても最新の情報が得られること	1	2	3	4	5
⑤校舎や教室の設備の充実が図られること	1	2	3	4	5
⑥外国語の習得や多文化を体験できること	1	2	3	4	5

⑦地域の方々との交流により豊かな体験ができること	1	2	3	4	5
⑧礼の心を重んじた道徳心を身につけること	1	2	3	4	5
⑨部活動を通して豊かな経験をし、成長すること	1	2	3	4	5

問9-1 **問9の項目以外**で満足、不満足に感じていることがあればご記入ください。

【**満足**に感じていること】

【**不満足**に感じていること】

問10 保護者として子どもたちと地域との関わりについて期待することは何ですか？あてはまる番号**3つ**に○をつけてください。（保護者、先生等へのサポートを含む）
※3～8は授業の中で行うことを想定しています

1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること
2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること
3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習支援してくれること
4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること
5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること
6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること
7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること
8. 地域の大学や大学生との探究的な学びの支援をしてくれること
9. 休日や放課後などに宿題などの学習支援をしてくれること
10. 祭りや美化活動などの地域活動に子どもたちを参加させてくれること
11. 特になし

問10-1 **問10の項目以外**で地域に期待することがあればご記入ください。

【中学校別の生徒数の将来推計について】

中学校全体

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	84	83	167	83	88	171	56	55	111	61	62	123
2年	85	96	181	90	70	160	75	69	144	64	62	126
3年	96	83	179	90	90	180	74	76	150	55	73	128
計	265	262	527	263	248	511	205	200	405	180	197	377

永平寺町の中学生全体では、平成31年度（令和元年度）に比べ令和15年度では約7割まで減少することが予想されています。

松岡中学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	44	51	95	49	58	107	40	42	82	45	45	90
2年	51	59	110	52	46	98	46	47	93	47	45	92
3年	54	45	99	46	48	94	50	39	89	43	52	95
計	149	155	304	147	152	299	136	128	264	135	142	277

永平寺中学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	27	17	44	24	23	47	13	6	19	9	10	19
2年	28	23	51	22	14	36	18	14	32	10	10	20
3年	34	26	60	32	33	65	19	23	42	10	10	20
計	89	66	155	78	70	148	50	43	93	29	30	59

上志比中学校

	平成31年度			令和5年度			令和10年度			令和15年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1年	13	15	28	10	7	17	3	7	10	7	7	14
2年	6	14	20	16	10	26	11	8	19	7	7	14
3年	8	12	20	12	9	21	5	14	19	2	11	13
計	27	41	68	38	26	64	19	29	48	16	25	41

【推計方法】

住民基本台帳（平成31年4月1日時点）を使用したコーホート変化率法（小学校区別を合計して算出）

※他の学区に通学している児童・生徒がいるため平成31年度の児童・生徒数及び推計値とは差があります。

問10 将来的に生徒数が減少した際に町の対応として希望することを項目ごとにあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

項 目	希望する	やや希望	どちらでもない	希望しない	全く希望しない
①学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする	1	2	3	4	5
②町内の中学校間交流・学習連携を盛んにする	1	2	3	4	5
③小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする（ICTの活用を含む）	1	2	3	4	5
④複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の授業を担当することで学習を盛んにする	1	2	3	4	5
⑤複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設（体育館、グラウンド、プールなど）を相互に活用することで学習を盛んにする	1	2	3	4	5
⑥他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする（ICTの活用含む）	1	2	3	4	5
⑦海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする（ICTの活用含む）	1	2	3	4	5
⑧学校の再編を通じて一定の児童数を確保する	1	2	3	4	5

問 10-1 問 10 の項目以外で希望することがあればご記入ください。

問 11 1学年の児童数についてあなたが最低限必要だと思う人数をご記入ください。

1 学年 最低 （ ） 人

問 11-1 その理由をご記入ください。

保護者（小学生、中学生）アンケート

①属性（回答者の性別、年齢、子どもが通っている小学校・中学校）

（設問意図：回答者の基礎的な情報を得るとともに、小学校、中学校別の傾向をつかむためのクロス集計の基礎データとして使用）

【小学校についてお聞きします】

②小学校では、基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業の改善を行っています。上記以外で、保護者として小学校教育で重要視していることを選んでください。（3つまで選択：項目内の相対評価）

（設問意図：保護者の目線から小学校教育について重要視している項目を把握する）

1. 社会のマナーやルールを身に付けること【社会性】
2. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること【コミュニケーション】
3. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に付けること【教養】
4. ICT教育の環境を整備して、どこにいても最新の情報が得られること【先進性】
5. 校舎や教室の設備の充実が図られること【設備】
6. 外国語の習得や多文化を体験できること【多言語・多文化】
7. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること【地域連携】
8. 礼の心を重んじた道徳心を身につけること【地域性】
9. どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること【複数学級】
10. 少人数でも安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること【少人数教育】
※ICT教育、礼の心を重んじた道徳心については注釈で説明文を付けます。

②-1 ②以外で重要視していることをご記入ください。

③小学校教育の満足度について、下記項目ごとにお答えください。

（段階方式：非常に満足、満足、普通、少し不満、非常に不満）

（設問意図：保護者の目線から小学校教育について項目別に満足度を把握する。）

②の重要度と比較分析する）

1. 社会のマナーやルールを身に付けること【社会性】
2. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること【コ

コミュニケーション】

3. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に付けること【教養】
4. ICT教育の環境を整備して、どこにいても最新の情報が得られること【先進性】
5. 校舎や教室の設備の充実が図られること【設備】
6. 外国語の習得や多文化を体験できること【多言語・多文化】
7. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること【地域連携】
8. 礼の心を重んじた道徳心を身につけること【地域性】

※③の9. 10に関しては現在所属の学校により差がありますので、加えておりません。

③ー1 ③以外で満足、不満足な点をご記入ください。

④保護者として、子どもたちと地域との関わりについて期待することを選んでください。(保護者、先生等へのサポートを含む)(3つまで選択:項目内の相対評価)

《※3～8は授業の中で行うことを想定しています》

(設問意図:保護者の目線から地域と子どもたちの関わりについて期待することを把握する。住民アンケートにおいて“地域住民ができること”とのマッチングを把握する)

1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること【安全】
2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること【授業や学校行事への参加】
3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習支援してくれること【地域の歴史・文化】
4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること【社会性】
5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること【職場体験】
6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること【運動指導】
7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること【最先端体験】
8. 地域の大学や大学生との探究的な学びの支援をしてくれること【大学との連携】
9. 休日や放課後などに宿題などの学習支援をしてくれること【学習支援】
10. 祭りや美化活動などの地域活動に子どもたちを参加させてくれること【地域活動への参加】
11. 特になし

④ー1 ④以外で地域に期待することがあればご記入ください。

【小学校：現状の児童数及び将来推計値を掲載】

(掲載意図：現状の児童数及び将来的に減少することが予想される児童数を認識して頂く)

⑤将来的に児童数が減少した際の町の対応として、希望することを下記項目ごとにお答えください。(段階方式：希望する、やや希望、どちらでもない、あまり希望しない、希望しない)

(設問意図：将来的に児童数が減少することが予想されるなか、町の対応として保護者が何を求めているかを把握する)

1. 学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする【学校内交流】
2. 町内の小学校間交流・学習連携を盛んにする【小学校間交流】
3. 小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする (ICT の活用を含む)
【小中学校間交流】
4. 複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の専門教科の授業を担当することにつながりを盛んにする【先生の多学校所属】
5. 複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設 (プールなど) を相互に活用することにつながりを盛んにする【施設の共有】
6. 他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする (ICT の活用含む)
【地域との交流】
7. 海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする (ICT の活用含む)【多文化交流】
8. 学校の再編を通じて一定の児童数を確保する【学校再編】

⑤-1 ⑤以外で希望することがあればご記入ください。

⑥1学年の児童数について最低限必要だと思う人数をご記入ください。

(設問意図：保護者目線で1学年最低限の児童数を把握する)

() 人

⑥-1 その理由をご記入ください。(自由記述)

(設問意図：⑥の理由を把握する)

()

【中学校についてお聞きします】

⑦中学校でも、小学校と同じように基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業の改善を行っています。上記以外で、保護者として中学校教育で重要視していることを選んでください。（3つまで選択：項目内の相対評価）

（設問意図：保護者の目線から中学校教育について重要視している項目を把握する）

1. 社会のマナーやルールを身に付けること【社会性】
2. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること【コミュニケーション】
3. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に付けること【教養】
4. ICT教育の環境を整備して、どこにいても最新の情報が得られること【先進性】
5. 校舎や教室の設備の充実が図られること【設備】
6. 外国語の習得や多文化を体験できること【多言語・多文化】
7. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること【地域連携】
8. 礼の心を重んじた道徳心を身につけること【地域性】
9. どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること【複数学級】
10. 少人数でも安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること【少人数教育】
11. 部活動を通して豊かな経験をし、成長すること【部活動】

⑦ー1 ⑦以外で重要視していることがあればご記入ください。

⑧中学校教育の満足度について下記項目ごとにお答えください。

（段階方式：非常に満足、満足、普通、少し不満、非常に不満）

（設問意図：保護者の目線から中学校教育について項目別に満足度を把握する。

⑦の重要度と比較分析する）

1. 社会のマナーやルールを身に付けること【社会性】
2. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること【コミュニケーション】
3. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に付けること【教養】
4. ICT教育の環境を整備して、どこにいても最新の情報が得られること【先進性】
5. 校舎や教室の設備の充実が図られること【設備】

6. 外国語の習得や多文化を体験できること【多言語・多文化】
7. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること【地域連携】
8. 礼の心を重んじた道徳心を身につけること【地域性】
9. 部活動を通して豊かな経験をし、成長すること【部活動】

⑧ー1 ⑧以外で満足、不満足していることがあればご記入ください。

⑨保護者として、子どもたちと地域との関わりについて期待することを選んでください。(保護者、先生等へのサポートを含む)(3つまで選択:項目内の相対評価)

(設問意図:保護者の目線から地域と子どもたちの関わりについて期待することを把握する。住民アンケートにおいて“地域住民ができること”とのマッチングを把握する)

1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること【安全】
2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること【授業や学校行事への参加】
3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習支援してくれること【地域の歴史・文化】
4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること【社会性】
5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること【職場体験】
6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてしてくれること【運動指導】
7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてしてくれること【最先端体験】
8. 地域の大学や大学生との探究的な学びの支援をしてしてくれること【大学との連携】
9. 休日や放課後などに宿題などの学習支援をしてしてくれること【居場所】
10. 祭りや美化活動などの地域活動に子どもたちを参加させてくれること【地域活動への参加】
11. 特になし

⑨ー1 ⑨以外で地域に期待していることがあればご記入ください。

【中学校:現状の児童数及び将来推計値を掲載】

(掲載意図:現状の生徒数及び将来的に減少することが予想される生徒数を認識して頂く)

⑩将来的に生徒数が減少した際の町の対応として、希望することをご記入ください。

とにお答えください。(段階方式：希望する、やや希望、どちらでもない、あまり希望しない、希望しない)

(設問意図：将来的に生徒数が減少することが予想されるなか、町の対応として保護者が何を求めているかを把握する)

1. 学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする【学校内交流】
2. 町内の中学校間交流・学習連携を盛んにする【中学校間交流】
3. 小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする(ICTの活用を含む)
【小中学校間交流】
4. 複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の授業を担当することで学習を盛んにする【先生の多学校所属】
5. 複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設(体育館、グラウンド、プールなど)を相互に活用することで学習を盛んにする【施設の共有】
6. 他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする(ICTの活用含む)
【地域との交流】
7. 海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする(ICTの活用含む)【多文化交流】
8. 学校の再編を通じて一定の生徒数を確保する【学校再編】

⑩-1 ⑩以外で希望していることがあればご記入ください。

⑪ 1学年の生徒数について最低限必要だと思う人数をご記入ください。

(設問意図：保護者目線で1学年最低限の生徒数を把握する)

() 人

⑪-1 その理由をご記入ください。(自由記述)

(設問意図：⑪の理由を把握する)

()

保護者（幼稚園・幼稚園）アンケート

※前提としてお子さんが小学校、中学校に通う年齢になったことを想定してご記入いただくような注意書きをいたします。

①属性（回答者の性別、年齢、小学校区、お子さんの年齢）

（設問意図：回答者の基礎的な情報を得るとともに、小学校区別等の傾向をつかむためのクロス集計の基礎データとして使用）

【小学校についてお聞きします】

②小学校では、基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業の改善を行っています。上記以外で、保護者として小学校教育で重要視していることを選んでください。（3つまで選択：項目内の相対評価）

（設問意図：保護者の目線から小学校教育について重要視している項目を把握する）

1. 社会のマナーやルールを身に付けること【社会性】
2. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること【コミュニケーション】
3. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に付けること【教養】
4. ICT教育の環境を整備して、どこにいても最新の情報が得られること【先進性】
5. 校舎や教室の設備の充実が図られること【設備】
6. 外国語の習得や多文化を体験できること【多言語・多文化】
7. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること【地域連携】
8. 礼の心を重んじた道徳心を身につけること【地域性】
9. どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること【複数学級】
10. 少人数でも安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること【少人数教育】
※ICT教育、礼の心を重んじた道徳心については注釈で説明文を付けます。

②-1 ②以外重要視していることをご記入ください。

③保護者として、子どもたちと地域との関わりについて期待することを選んでください。（保護者、先生等へのサポートを含む）（3つまで選択：項目内の相対評価） 《※3～8は授業の中で行うことを想定しています》

(設問意図：保護者の目線から地域と子どもたちの関わりについて期待することを把握する。住民アンケートにおいて“地域住民ができること”とのマッチングを把握する)

1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること【安全】
2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること【授業や学校行事への参加】
3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習支援してくれること【地域の歴史・文化】
4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること【社会性】
5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること【職場体験】
6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること【運動指導】
7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること【最先端体験】
8. 地域の大学や大学生との探究的な学びの支援をしてくれること【大学との連携】
9. 休日や放課後などに宿題などの学習支援をしてくれること【学習支援】
10. 祭りや美化活動などの地域活動に子どもたちを参加させてくれること【地域活動への参加】
11. 特になし

③ー1 ③以外で地域に期待することがあればご記入ください。

【小学校：現状の児童数及び将来推計値を掲載】

(掲載意図：現状の児童数及び将来的に減少することが予想される児童数を認識して頂く)

④将来的に児童数が減少した際の町の対応として、希望することを下記項目ごとにお答えください。(段階方式：希望する、やや希望、どちらでもない、あまり希望しない、希望しない)

(設問意図：将来的に児童数が減少することが予想されるなか、町の対応として保護者が何を求めているかを把握する)

1. 学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする【学校内交流】
2. 町内の小学校間交流・学習連携を盛んにする【小学校間交流】
3. 小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする(ICTの活用を含む)【小中学校間交流】
4. 複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の専門教科の授業を担当することでつながりを盛んにする【先生の多学校所属】

8. 礼の心を重んじた道徳心を身につけること【地域性】
9. どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること【複数学級】
10. 少人数でも安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること【少人数教育】
11. 部活動を通して豊かな経験をし、成長すること【部活動】

⑥-1 ⑥以外で重要視していることがあればご記入ください。

⑦保護者として、子どもたちと地域との関わりについて期待することを選んでください。(保護者、先生等へのサポートを含む)。(3つまで選択：項目内の相対評価)

(設問意図：保護者の目線から地域と子どもたちの関わりについて期待することを把握する。住民アンケートにおいて“地域住民ができること”とのマッチングを把握する)

1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること【安全】
2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること【授業や学校行事への参加】
3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習支援してくれること【地域の歴史・文化】
4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること【社会性】
5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること【職場体験】
6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてしてくれること【運動指導】
7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてしてくれること【最先端体験】
8. 地域の大学や大学生との探究的な学びの支援をしてしてくれること【大学との連携】
9. 休日や放課後などに宿題などの学習支援をしてしてくれること【居場所】
10. 祭りや美化活動などの地域活動に子どもたちを参加させてくれること【地域活動への参加】
11. 特になし

⑦-1 ⑨以外で地域に期待していることがあればご記入ください。

【中学校：現状の児童数及び将来推計値を掲載】

(掲載意図：現状の児童数及び将来的に減少することが予想される児童数を認識して頂く)

⑧将来的に生徒数が減少した際の町の対応として、希望することをご項目ごとにお答えください。(段階方式：希望する、やや希望、どちらでもない、あまり希望しない、希望しない)

(設問意図：将来的に生徒数が減少することが予想されるなか、町の対応として保護者が何を求めているかを把握する)

1. 学校内で世代を超えた交流・学習を盛んにする【学校内交流】
2. 町内の中学校間交流・学習連携を盛んにする【中学校間交流】
3. 小中学校の垣根を越えた交流・学習連携を盛んにする (ICT の活用を含む)
【小中学校間交流】
4. 複数の小規模校を維持しつつ、先生が複数の学校の授業を担当することで学習を盛んにする【先生の多学校所属】
5. 複数の小規模校を維持しつつ、各学校の施設 (体育館、グラウンド、プールなど) を相互に活用することで学習を盛んにする【施設の共有】
6. 他市町村の学校や他の地域との交流・学習を盛んにする (ICT の活用含む)
【地域との交流】
7. 海外の学校や地域との交流・学習を盛んにする (ICT の活用含む)【多文化交流】
8. 学校の再編を通じて一定の生徒数を確保する【学校再編】

⑧ー1 ⑧以外で希望していることがあればご記入ください。

⑨ 1 学年の生徒数について最低限必要だと思ふ人数をお答えください。

(設問意図：保護者目線で1学年最低限の生徒数を把握する)

() 人

⑨ー1 その理由をご記入ください。(自由記述)

(設問意図：⑨の理由を把握する)

()

小学生（2年生～4年生）アンケート

①属性（回答者の性別、学年、通っている小学校）

（設問意図：回答者の基礎的な情報を得るとともに、各項目別の傾向をつかむためのクロス集計の基礎データとして使用）

②あなたの学校や学級のいいところ、自慢できるところを自由に書いてください。

（設問意図：小学生4年生までは選択肢から選ぶことが困難なことが予想されるため、自由に記入していただきます）

（
）

③学校では何が楽しいですか。好きなことや楽しかったことを自由に書いてください。

（設問意図：小学生4年生までは選択肢から選ぶことが困難なことが予想されるため、自由に記入していただきます）

（
）

【具体的な設問案については、小学2～4年生を想定しているため以下のような表現を予定しています】

①属性（回答者の性別、学年、通っている小学校）

○あなたのせいべつはどちらですか

おとこ おんな

○あなたはなんねんせいですか。せんたくしてください。

2ねんせい 3ねんせい 4ねんせい

○あなたのがっこうをえらんでください

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 松岡（まつおか）小学校 | 2. 吉野（よしの）小学校 |
| 3. 御陵（ごりょう）小学校 | 4. 志比南（しひみなみ）小学校 |
| 5. 志比（しひ）小学校 | 6. 志比北（しひきた）小学校 |
| 7. 上志比（かみしひ）小学校 | |

②学校や学級のいいところ、自慢できるところを自由に書いてください

○がっこうやクラスのいいところ、じまんでできるところを、じゆうにかいてください

[]

③学校では何が楽しいですか。好きなことや楽しかったことを自由に書いてください。

○がっこうでは、なにがたのしいですか。すきなことやたのしかつたことをじゆうにかいてください。

[]

小学生・中学生（児童・生徒）アンケート

※実際の調査票では小学5年生が回答できるような簡易な表現を使用します。

①属性（回答者の性別、学年、通っている小学校・中学校）

（設問意図：回答者の基礎的な情報を得るとともに、各項目別の傾向をつかむためのクロス集計の基礎データとして使用）

②自分の学校や学級のいいところ、自慢できるところを自由に書いてください。

（設問意図：小中学生の学校生活の現状を把握します）

③これから学校でやってみたいことを項目ごとにお答えください。

（段階方式：ぜひやってみたい、やってみたい、普通、そんなにやりたくない、やりたくない）

（設問意図：児童、生徒がこれからやってみたいことを把握する）

1. 地域の伝統や文化を学んだり、体験したりすること【ふるさと教育】
2. 近隣の自然について学んだり、体験したりすること【自然】
3. 農業などについて学んだり、体験したりすること【勤労生産】
4. 企業の方と職場や就業に関する体験をすること【就業体験】
5. 外国語や外国の文化に触れること【外国語教育】
6. プログラミング教育や最先端技術を学ぶこと【プログラミング等教育】
7. 学級の仲間と一緒にいるグループ学習【グループ学習】
8. 自分たちで地域の課題を解決するような学習【新学習指導要領】
9. 違う学年と一緒に様々な体験や学習をすること【学校内交流】
10. 違う学校と一緒に様々な体験や学習をすること【小学校間交流】
11. 小中学校一緒に様々な体験や学習をすること【小中学校間交流】
12. 最先端技術を利用して、他の学校や地域との交流・学習をすること【オンライン教育】

③-1 ③以外の項目でやりたいことを書いてください。

④地域との関わりについて期待すること（3つまで選択：項目内の相対評価）

（設問意図：児童・生徒の目線から地域に期待していることを把握する。住民アンケートにおいて地域住民の協力できることとのマッチングを把握する）

1. 地域の方が登下校など子どもたちの安全をサポートしてくれること【安全】
2. 地域の方が授業や学校行事へ参加、協力してくれること【授業や学校行事への参加】

3. 地域の方が地域の歴史や文化、自然体験の学習支援してくれること【地域の歴史・文化】
4. 地域の方が社会のルールや道徳心を教えてくれること【社会性】
5. 地域の方が職場や就業に関わる体験活動を支援してくれること【職場体験】
6. 地域の方が運動やスポーツなどの指導補助をしてくれること【運動指導】
7. 地域の方が最先端技術への体験や活動支援をしてくれること【最先端体験】
8. 地域の大学や大学生との探究的な学びに参加させてくれること【大学との連携】
9. 休日や放課後などに宿題などの学習支援をしてくれること【学習支援】
10. 祭りや美化活動などの地域活動に参加させてくれること【地域活動への参加】
11. 特になし

④－1 ④以外で地域に期待することがあれば書いてください。

⑤現在の学校やクラスの児童数・生徒数についてどのように感じているかをお答えください。(1つ選択)

(設問意図：現在の児童数・生徒数についてどのように感じているか把握する)

1. もっと多い方がよい
2. ちょうどよい
3. もっと少ない方がよい
4. その他 ()

⑥ ⑤で1. もっと多い方がよいと答えた方のみ

⑤で答えた理由をお答えください。(2つまで選択：項目内の相対評価)

(設問意図：多い方がよいと答えた方で⑤の理由を把握する)

1. たくさんのクラスメイトがほしい
2. もっとたくさんの先生と話がしたい
3. いろいろなグループで活動したい
4. クラス替えがしたい
5. もっとたくさんの種類からスポ少や部活動等を選びたい
6. その他 ()

⑦ ⑤で3. もっと少ない方がよいと答えた方のみ

⑤で答えた理由をお答えください。(2つまで選択：項目内の相対評価)

(設問意図：少ないがよいと答えた方で⑤の理由を把握する)

※設問内容設計書

1. 少人数のクラスメイトと一緒にいたい
2. 先生ともっと相談や話をする機会がほしい
3. もっと自分の好きなことや自分の好きな役割をしたい
4. 同じクライメイトで卒業まで過ごしたい
5. もっとリーダー的な役割をしたい
6. その他 ()

(設問意図：少ないがよいと答えた方で③の理由を把握する)

1. 少人数のクラスメイトと一緒にいたかった
2. 先生ともっと相談や話をする機会がほしかった
3. もっと自分の好きなことや自分の好きな役割をしたかった
4. 同じクライメイトで卒業まで過ごしたかった
5. もっとリーダー的な役割をしたかった
6. その他 ()

【中学校についてお聞きします】

⑥中学生当時の学校や学級のいいところ、自慢できるところを自由に書いてください。

(設問意図：中学生当時の学校生活の現状を把握します)

⑦中学生時代のクラスの生徒数について総合的に考えてどのように感じていましたか。(1つ選択)

(設問意図：小学校時代の児童数についてどのように感じていたか把握する)

1. もっと多い方がよかった
2. ちょうどよかった
3. もっと少ない方がよかった
4. その他 ()

⑧ ⑦で1. もっと多い方がよいと答えた方のみ

⑦で答えた理由をお答えください。(2つまで選択：項目内の相対評価)

(設問意図：多い方がよいと答えた方で③の理由を把握する)

1. たくさんのクラスメイトがほしかった
2. もっとたくさんの先生と話がしたかった
3. いろいろなグループで活動したかった
4. クラス替えがしたかった
5. もっとたくさんの種類からスポ少や部活動等を選びたかった
6. その他 ()

⑨ ⑦で3. もっと少ない方がよいと答えた方のみ

⑦で答えた理由をお答えください。(2つまで選択：項目内の相対評価)

(設問意図：少ないがよいと答えた方で③の理由を把握する)

※設問内容設計書

1. 少人数のクラスメイトと一緒にいたかった
2. 先生ともっと相談や話をする機会がほしかった
3. もっと自分の好きなことや自分の好きな役割をしたかった
4. 同じクライメイトで卒業まで過ごしたかった
5. もっとリーダー的な役割をしたかった
6. その他 ()

地域住民アンケート

①属性（回答者の性別、年齢、お住まいの小校区）

（設問意図：回答者の基礎的な情報を得るとともに、小校区別の傾向をつかむためのクロス集計の基礎データとして使用）

【小学校についてお聞きします】

②小学校では、基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業の改善を行っています。上記以外で、地域住民として小学校教育で重要視してほしいことを選んでください。（3つまで選択：項目内の相対評価）

（設問意図：住民の目線で小学校教育について重要視している項目を把握する）

1. 社会のマナーやルールを身に付けること【社会性】
 2. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身に付けること【コミュニケーション】
 3. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に付けること【教養】
 4. ICT教育の環境を整備して、どこにいても最新の情報が得られること【先進性】
 5. 校舎や教室の設備の充実が図られること【設備】
 6. 外国語の習得や多文化を体験できること【多言語・多文化】
 7. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること【地域連携】
 8. 礼の心を重んじた道徳心を身に付けること【地域性】
 9. どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること【複数学級】
 10. 少人数でも安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること【少人数教育】
- ※ICT教育、礼の心を重んじた道徳心については注釈で説明文を付けます。

②-1 ②以外で重要視していることをご記入ください。

③上記学校教育以外に、地域における小学校の役割について、下記項目ごとにお答えください

（段階方式：強くそう思う、そう思う、普通、そう思わない、全く思わない）

（設問意図：住民の目線で小学校の役割についての考え方を把握する）

1. 地域の歴史、文化の中核的な存在であること【地域のシンボル】
2. 子どもたちとの交流ができる施設であること【世代間交流】
3. 避難所など地域の防災拠点であること【防災拠点】

4. 地域社会のつながりや支え合いのセンター的存在であること【地域共生拠点】
5. 地域のイベント活動の場であること【イベント活動拠点】
6. その他（ ）

④小学校への関わりについて、あなたが**継続的に**協力できることをお答えください。（あてはまるものすべて）

（設問意図：住民の目線で学校へ協力できることを把握する。児童及び保護者の期待することとのマッチングを想定）

1. 登下校など子どもたちの安全をサポートすること【安全】
2. 授業や学校行事へ参加、協力すること【授業や学校行事への参加】
3. 地域の歴史や文化、自然体験の学習支援すること【地域の歴史・文化】
4. 社会のルールや道徳心を教えること【社会性】
5. 職場や就業に関わる体験活動を支援すること【職場体験】
6. 運動やスポーツなどの指導補助をすること【運動指導】
7. 最先端技術への体験や活動支援をすること【最先端体験】
8. 地域の大学や大学生と協働で子どもたちの探究的な学びを支援すること【大学との連携】
9. 休日や放課後などに宿題などの学習支援をすること【学習支援】
10. 祭りや美化活動などの地域活動を子どもたちと協働でおこなうこと【地域活動への参加】
11. 特になし

⑤小学校への関わりについてあなたが**継続的な支援や協力**できることをできるだけ具体的にお答えください。

（ ）

【中学校についてお聞きします】

⑥中学校でも、小学校と同じように基礎的な学習を習得することを基本とし、新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業の改善を行っています。上記以外で、地域住民として中学校教育で重要視していることを選んでください。（3つまで選択：項目内の相対評価）

（設問意図：住民の目線で中学校教育について重要視している項目を把握する）

1. 社会のマナーやルールを身に付けること【社会性】
2. 集団の中で切磋琢磨して、コミュニケーション能力を身につけること【コミュニケーション】

3. 地域の伝統や文化、歴史に関する教育を身に付けること【教養】
4. ICT教育の環境を整備して、どこにいても最新の情報が得られること【先進性】
5. 校舎や教室の設備の充実が図られること【設備】
6. 外国語の習得や多文化を体験できること【多言語・多文化】
7. 地域の方々との交流により豊かな体験ができること【地域連携】
8. 礼の心を重んじた道徳心を身につけること【地域性】
9. どの学年も複数の学級として、クラス替えができるようにすること【複数学級】
10. 少人数でも安定した集団で学び、丁寧な教育を受けること【少人数教育】
11. 部活動を通して豊かな経験をし、成長すること【部活動】
12. その他（ ）

⑦上記学校教育以外に地域における中学校の役割について下記項目ごとにお答えください

(段階方式：強くそう思う、そう思う、普通、そう思わない、全く思わない)

(設問意図：住民の目線で中学校の役割についての考え方を把握する)

1. 地域の歴史、文化の中核的な存在であること【地域のシンボル】
2. 子どもたちとの交流ができる施設であること【世代間交流】
3. 避難所など地域の防災拠点であること【防災拠点】
4. 地域社会のつながりや支え合いのセンター的存在であること【地域共生拠点】
5. 地域のイベント活動の場であること【イベント活動拠点】
6. その他（ ）

⑧中学校への関わりについてあなたが**継続的に**協力できることをお答えください。(あてはまるものすべて)

(設問意図：住民の目線で学校へ協力できることを把握する。生徒及び保護者の期待することとのマッチングを想定)

1. 登下校など子どもたちの安全をサポートすること【安全】
2. 授業や学校行事へ参加、協力すること【授業や学校行事への参加】
3. 地域の歴史や文化、自然体験の学習支援すること【地域の歴史・文化】
4. 社会のルールや道徳心を教えること【社会性】
5. 職場や就業に関わる体験活動を支援すること【職場体験】
6. 運動やスポーツなどの指導補助をすること【運動指導】
7. 最先端技術への体験や活動支援をすること【最先端体験】
8. 地域の大学や大学生と協働で子どもたちの探究的な学びを支援すること

【大学との連携】

9. 休日や放課後などに宿題などの学習支援をすること【学習支援】
10. 祭りや美化活動などの地域活動を子どもたちと協働でおこなうこと【地域活動への参加】
11. 特になし

⑨中学校への関わりについてあなたが継続的な支援や協力できることをできるだけ具体的にお答えください。

()

学校のあり方検討スケジュール（R2.7 修正）

令和元年

12/25 第1回委員会

令和2年

2/3 委員長・副委員長打ち合わせ（アンケート内容・第2回委員会開催日程）

（アンケート修正期間（庁内検討））

9月 第2回委員会

（アンケート修正、印刷・発送期間）

11月下旬 アンケート発送

12月中旬 アンケート〆切、集計・分析開始

令和3年

1月下旬 集計・分析完了（速報値提出）

（第3回委員会資料作成期間）

2月 委員長・副委員長打ち合わせ（第3回委員会検討項目・開催日程）

（資料修正・開催通知発送・各団体内協議期間）

3月 第3回委員会（アンケート結果提示、課題・検討事項抽出）

（第4回委員会資料作成期間）

4月 委員長・副委員長打ち合わせ（第4回委員会検討項目・開催日程）

（資料修正・開催通知発送・各団体内協議期間）

5月 第4回委員会（検討1回目）

（第5回委員会資料作成期間）

6月 委員長・副委員長打ち合わせ（第5回委員会検討項目・開催日程）

（資料修正・開催通知発送・各団体内協議期間）

8月 第5回委員会（検討2回目）

（答申案作成期間）

9月 委員長・副委員長打ち合わせ（第6回委員会内容・開催日程）

（資料修正・開催通知発送・各団体内協議期間）

10月 第6回委員会（答申案協議）

（答申案修正期間）

11月 答申